

応募数が募集定員を超えたため、募集を終了しました。（2026年1月13日）

セミナー「成員カテゴリー化装置（MCD）」（2026年2月）

講師 西阪 仰（EMCA 財団代表理事／千葉大学名誉教授）

以下の要領で、会話分析の基本概念とその使い方を考えるセミナーを開催します。ご関心のある方、ぜひご参加ください。昨年9月のセミナーと内容が重なりますので、ご応募にあたり、その点、ご注意ください。

会話分析の諸概念を正確に理解することとともに、その概念のもつ含意をいっしょに考えることができればと思っています。さらに、それをどう展開して研究につなげられるかなど、議論できればと考えています。前提的な知識等は、基本的に必要としていません。

ZOOMを用いたオンライン形式で行ないます。

テキストは以下のものを使います。各自ご用意ください。

- ・サックス「会話データの利用可能性」『日常性の解剖学』（ちくま学芸文庫）
- ・サックス「ホットロッダー」『エスノメソドロジー』（せりか書房）（こちらは、宿題で使います。）

■日時

- ・2026年2月9日、2月16日、2月23日の3つの月曜日、
午後6時から8時まで（全3日）

■受講条件

- ・全3日すべてにビデオオンで参加いただける方
- ・こちらが編集したサックスA4版3ページ程度の英語の文章を読み、質問に答えていただく事前課題（募集締め切り後配信）を期日（2月6日ごろ）までに提出可能な方
- ・毎回の宿題を指定の時間までに提出いただける方
- ・上記のテキストを自身でご用意いただける方（図書館でコピーしていただいても結構です）

■受講料 ※

- ・常勤にある方: 3000円
- ・常勤にない方: 1200円（学部生は500円）

■セミナーの内容（予定）

第1回 MCDの基本的な考え方について

（主にサックスの「会話データの利用法」について）

第2回 「可能な行為」および「可能な記述」の構成とMCDと

応募数が募集定員を超えたため、募集を終了しました。（2026年1月13日）

第3回 「受け手に合わせたデザイン」とMCD

■応募方法

- ・2026年1月24日までに、

- お名前、
- ご所属
- 上の4つの受講条件を満たしていることの確認

を含むメールを下のアドレスにお送りください。（ご応募にあたり、受講条件が本当に満たされているかを、ご予定等、よくご確認くださいますようお願いいたします。）

augnish@chiba-u.jp

ご連絡いただくとき、メールの件名に「EMCA財団MCDセミナー応募」の文字列を入れてください。

- ・先着15名まで受け付けさせていただきます。

- ・ご応募いただいた方には、1月24日以降、事前課題と受講料の支払い方法等の詳細をお送りいたします。

※ 受講料は、半分を、西阪が講師料（準備のための費用等）としていただき、半分は、（決済手数料等を引いたあと）助成のための基金に組み込みます。また、いったんお支払いいただいた受講料は、返金が困難な場合があります。支払後、受講キャンセル（受講条件が満たせなくなった等の事情も含めて）が生じた場合、決済手数料等を引いた額を助成のための基金に組み込ませていただくことがありますこと、あらかじめご承知おきください。